木谷小学校　コミュニティスクールだより　　令和６年７月 11 日発行　第 28 号

木谷の風

コミュニティ・スクール推進員　福田　みき

地域の方から学んだこと

【豊潮丸体験航海　　５・６年生　　７月 10 日（水）】

広島大学生物生産学部と連携し，藍之島東側でプランクトンの採集，観察を目的に広島大学練習船「豊潮丸」の体験航海を行いました。
行程は下記の通りでした。

8:30　学校出発（徒歩）
8:45　木谷岸壁到着　説明・乗船準備
9:00　出港　講義
9:25　観測点到着・実習開始（船内見学・プランクトン採集と観察）
10:50　観測点出発
11:30　下船
11:50　学校到着

児童たちはワクワクしているのがすぐにわかるぐらい興奮していました。

乗船してすぐに，ヘルメットとライフジャケットを身につけました。そして船に異常があったときの避難訓練と火災があったときの避難訓練を行いました。そのあと２グループに分かれて，操縦室とプランクトン採集の説明を聞きました。操縦室では操縦する人と周りを監視する人が協力して船を動かしていることを学びました。もう一人機械を動かす人もおられました。設置してあるものも２つずつで，「もしも」の対応がされていました。説明をしてくださった加藤さんが「海は好き。泳ぐのも好き。魚も好き。」とそんなふうに言ってくれる子供たちは多いのですが，「船が好き。」という子供たちは少ないです。船は一人で動かすことはできません。操縦管を握る人，360 度の海の様子を監視する人，機械をうまく動かす人たちが相談し協力しあっ

て仕事をしています。興味を持って船の仕事がしたいという人が増えたらいいなあと思っています。」と言われました。仕事の喜びとして「イルカが多いときは 50 匹群れになって船首で遊んでくれることがあります。とても楽しくて，つらいことを忘れます。」と笑顔で言われたのが印象的でした。

　プランクトン採集では深水 20 メートルの所から大きくて特殊な網を使われました。その網の底には茶色に濁ったようなものがたくさん採取されました。それを顕微鏡で拡大したモニターに映して見せてもらいました。なんとプランクトンの多いこと。植物プランクトンに動き回る動物プランクトン。牡蠣の餌になるプランクトンに赤潮の原因になるプランクトン。形が様々で食い入るように見つめていました。

　デッキで，呉の海の底の土と安芸津の海の底の土を比較して見せてもらいました。腐敗臭もなくべたつきもなくきれいと思えるのは間違いなく安芸津の土でした。いつまでもきれいでプランクトンが正常に繁殖する海にするために自分はどうするか？どう動くか？この学習を通して考えていけたらいいです。

　お天気にも恵まれ，とても素晴らしい体験をさせていただきました。多くの皆様に感謝です。ありがとうございました。